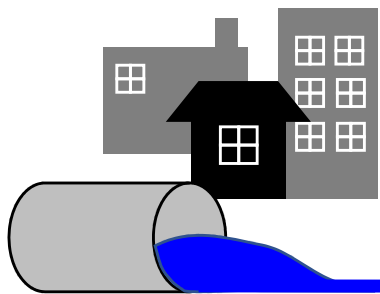


第2回春日井市上下水道事業 経営審議会資料

上下水道経営課



将来の公共下水道事業においての方針

1 浄化センターの今後のあり方について

2 公共下水道の整備計画について

以上の2点について検討を行った。



1 浄化センターの今後のあり方について

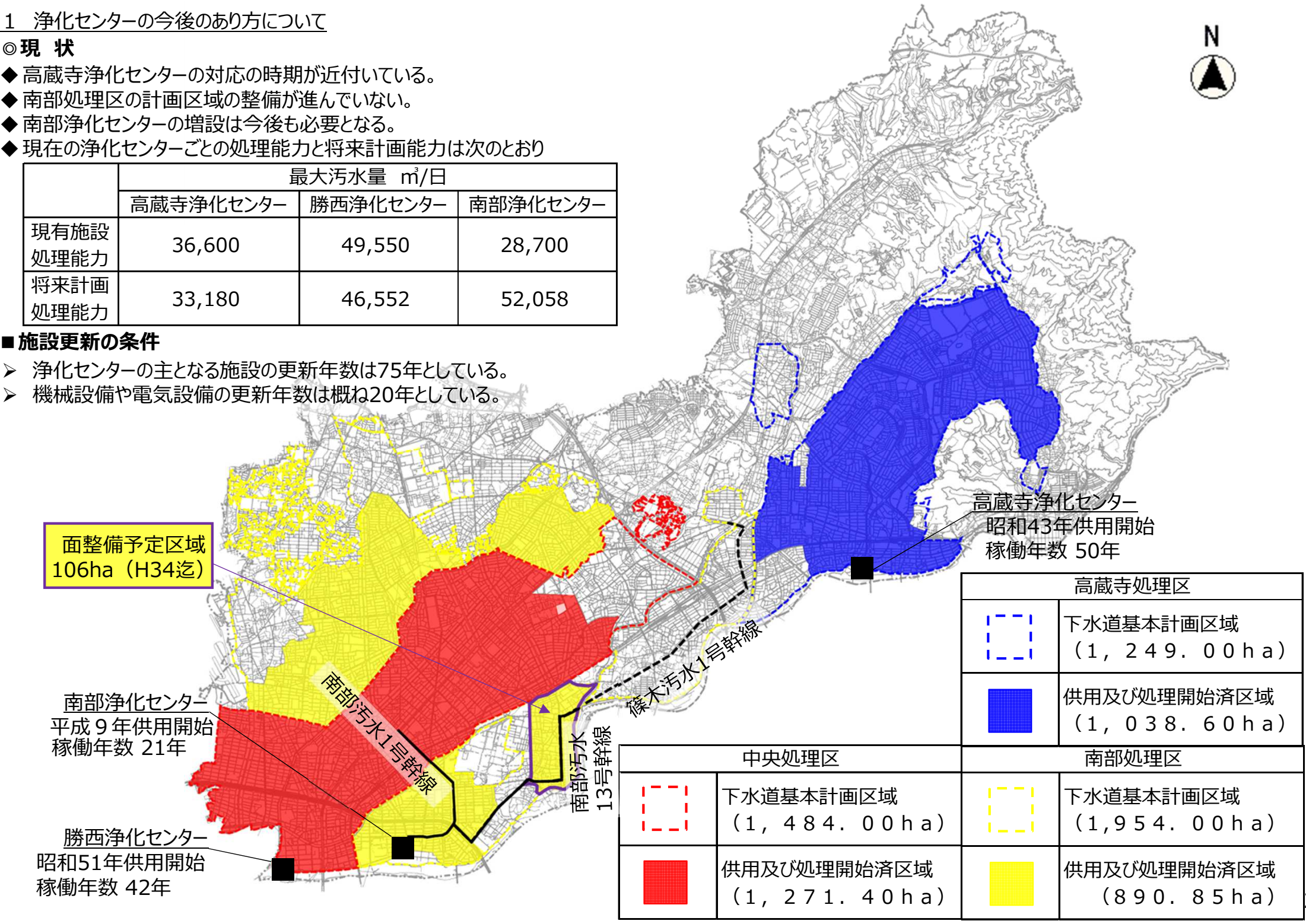
◎現 状

- ◆高蔵寺浄化センターの対応の時期が近付いている。
- ◆南部処理区の計画区域の整備が進んでいない。
- ◆南部浄化センターの増設は今後必要となる。
- ◆現在の浄化センターごとの処理能力と将来計画能力は次のとおり

	最大汚水量 m ³ /日		
	高蔵寺浄化センター	勝西浄化センター	南部浄化センター
現有施設 処理能力	36,600	49,550	28,700
将来計画 処理能力	33,180	46,552	52,058

■施設更新の条件

- 浄化センターの主となる施設の更新年数は75年としている。
- 機械設備や電気設備の更新年数は概ね20年としている。



面整備予定区域
106ha (H34迄)

南部浄化センター
平成9年供用開始
稼働年数 21年

勝西浄化センター
昭和51年供用開始
稼働年数 42年

高蔵寺浄化センター
昭和43年供用開始
稼働年数 50年

高蔵寺処理区	
	下水道基本計画区域 (1, 249.00ha)
	供用及び処理開始済区域 (1, 038.60ha)
南部処理区	
	下水道基本計画区域 (1,954.00ha)
	供用及び処理開始済区域 (890.85ha)

中央処理区	
	下水道基本計画区域 (1, 484.00ha)
	供用及び処理開始済区域 (1, 271.40ha)

1 浄化センターの今後のあり方について

3 処理区の存続（高蔵寺浄化センターの更新）

①汚泥処理施設解体後水処理棟建設

汚泥処理棟は建替えなし

③汚泥処理施設ポンプ棟建設

⑥管理棟建替え

④流量調整池建設解体

⑤最初沈殿池建替え

⑦用水棟建替え

②水処理棟解体し、建設

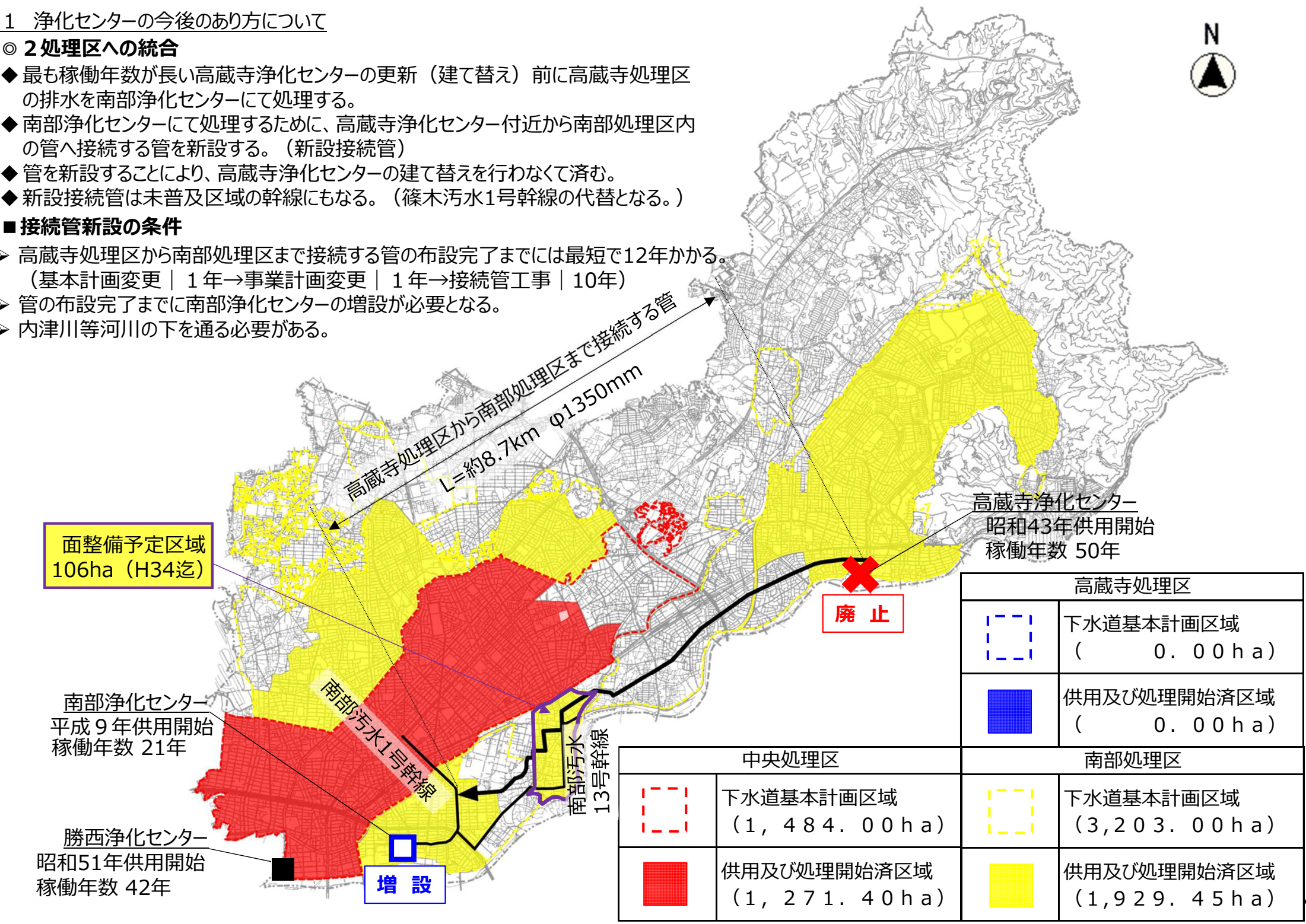
1 浄化センターの今後のあり方について

◎ 2 処理区への統合

- ◆ 最も稼働年数が高い高蔵寺浄化センターの更新（建て替え）前に高蔵寺処理区の排水を南部浄化センターにて処理する。
- ◆ 南部浄化センターにて処理するために、高蔵寺浄化センター付近から南部処理区内の管へ接続する管を新設する。（新設接続管）
- ◆ 管を新設することにより、高蔵寺浄化センターの建て替えを行わなくて済む。
- ◆ 新設接続管は未普及区域の幹線にもなる。（篠木污水1号幹線の代替となる。）

■ 接続管新設の条件

- 高蔵寺処理区から南部処理区まで接続する管の布設完了までには最短で12年かかる。
（基本計画変更 | 1 年→事業計画変更 | 1 年→接続管工事 | 10 年）
- 管の布設完了までに南部浄化センターの増設が必要となる。
- 内津川等河川の下を通る必要がある。



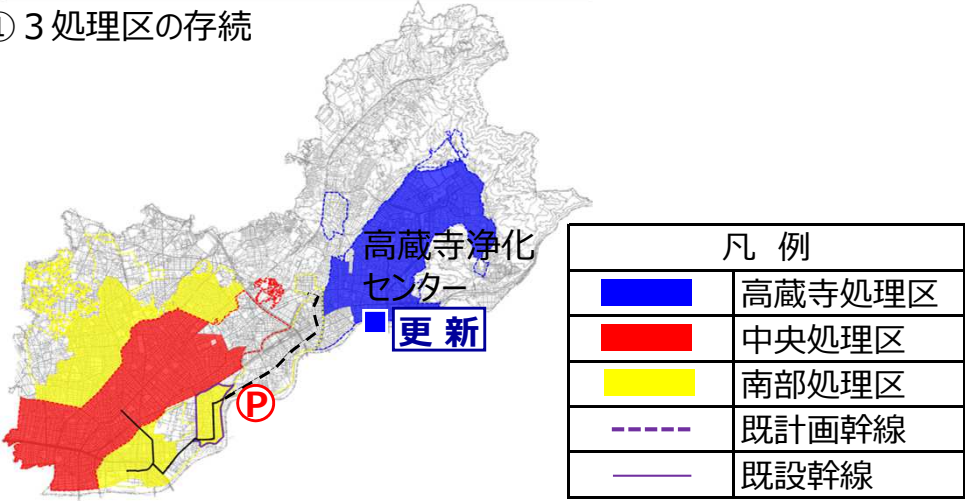
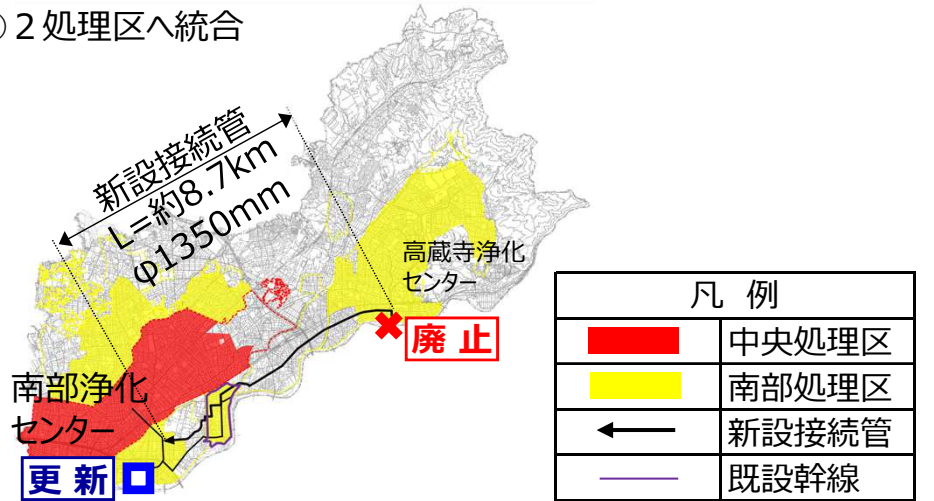
高蔵寺処理区	
	下水道基本計画区域 (0. 00 h a)
	供用及び処理開始済区域 (0. 00 h a)
中央処理区	
	下水道基本計画区域 (1, 4 8 4. 0 0 h a)
	供用及び処理開始済区域 (1, 2 7 1. 4 0 h a)
南部処理区	
	下水道基本計画区域 (3, 2 0 3. 0 0 h a)
	供用及び処理開始済区域 (1, 9 2 9. 4 5 h a)

1 浄化センターの今後のあり方について

(1) 検討比較 | 高蔵寺浄化センターの廃止と更新について費用を含めたメリット・デメリットの整理

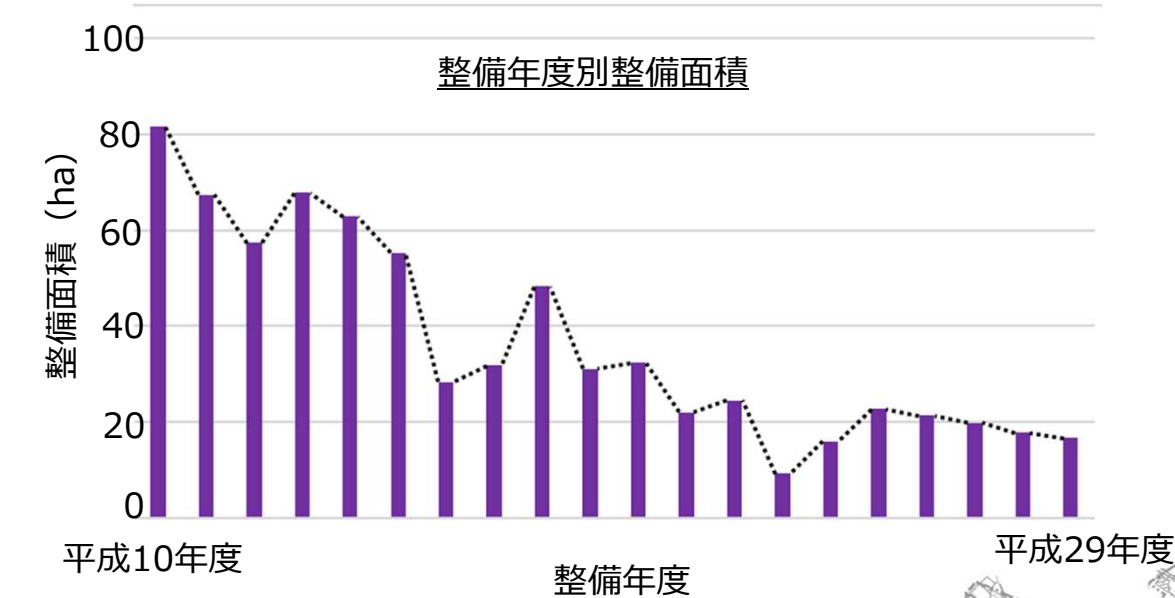
前提条件

- ①については、高蔵寺浄化センター建て替え、現計画幹線管渠、ポンプ場に係る建設費、及び建て替え後50年間の設備更新と維持管理の費用を算出
- ②については、高蔵寺浄化センター廃止に係る南部浄化センターの増設（工事期間 6 年）及び新設接続管の布設費用（工事期間12年）、廃止後50年間の設備更新と維持管理、国庫補助金返還の費用を算出

	① 3 処理区の存続  <table><tr><th colspan="2">凡 例</th></tr><tr><td></td><td>高蔵寺処理区</td></tr><tr><td></td><td>中央処理区</td></tr><tr><td></td><td>南部処理区</td></tr><tr><td></td><td>既計画幹線</td></tr><tr><td></td><td>既設幹線</td></tr></table>	凡 例			高蔵寺処理区		中央処理区		南部処理区		既計画幹線		既設幹線	② 2 処理区へ統合  <table><tr><th colspan="2">凡 例</th></tr><tr><td></td><td>中央処理区</td></tr><tr><td></td><td>南部処理区</td></tr><tr><td></td><td>新設接続管</td></tr><tr><td></td><td>既設幹線</td></tr></table>	凡 例			中央処理区		南部処理区		新設接続管		既設幹線
凡 例																								
	高蔵寺処理区																							
	中央処理区																							
	南部処理区																							
	既計画幹線																							
	既設幹線																							
凡 例																								
	中央処理区																							
	南部処理区																							
	新設接続管																							
	既設幹線																							
処理場建設費	175.3億円 高蔵寺浄化センター建替 水処理棟、沈砂池機械棟、用水棟、管理棟、消毒タンク	94億円 南部浄化センター増設 水処理棟、 沈砂池機械棟 、 用水棟 、 管理棟 、 消毒タンク 、污泥棟																						
接続管建設費	—	93.1億円																						
設備更新費 50年	184.1億円	95.6億円																						
維持管理費 50年	143.4億円	96.6億円																						
国庫補助金 等返還	0円	0.9億円～2.3億円																						
合計費用	502.8億円	380.2億円～381.6億円																						
懸案事項	十分な建替えスペースが無く、処理場を運用しながらの建替えとなり、部分的に壊しながら工事をしなければならないため、費用が増える可能性がある。	関連する地元調整が必要となる。																						

2 公共下水道の整備計画について

- ◎現 状
- ◆ 現在、面整備は20ha/年程度行っている。
 - ◆ 下水道の供用開始区域は平成30年 3 月末時点で3,201ha整備されている。（整備進捗率68.3%）
 - ◆ 計画では将来下水道を整備する面積は市域9,278ha中4,687haを予定している。

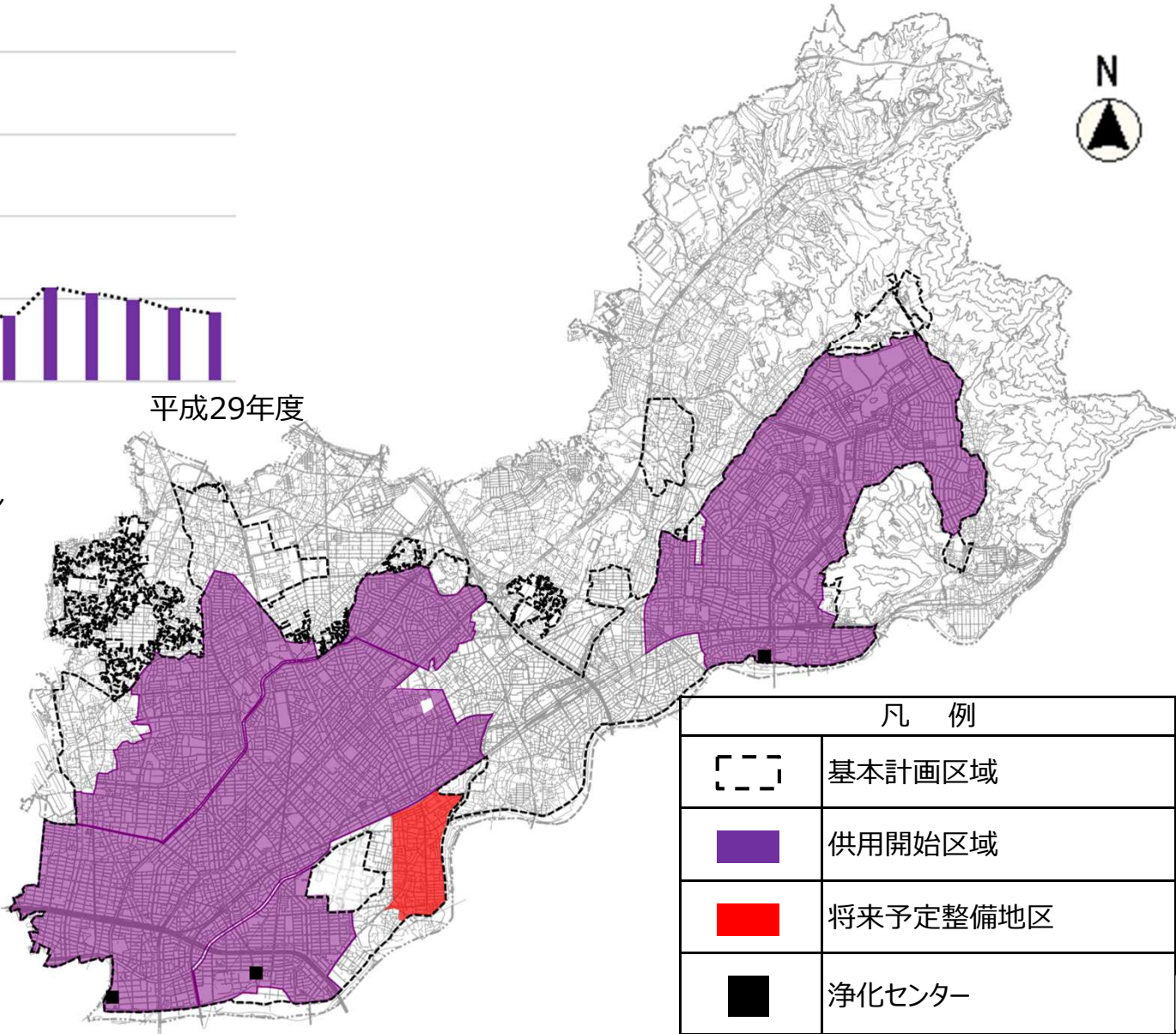


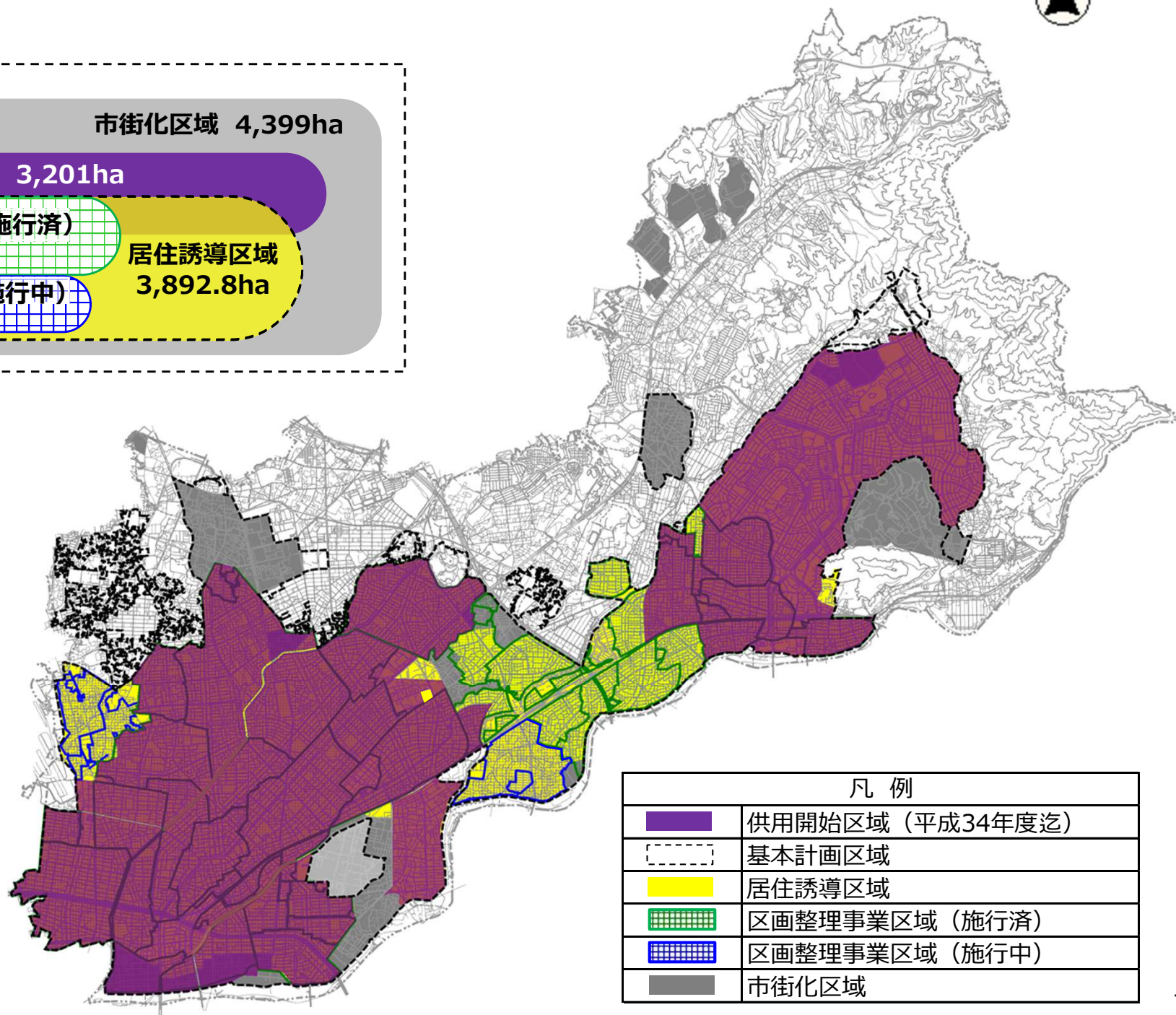
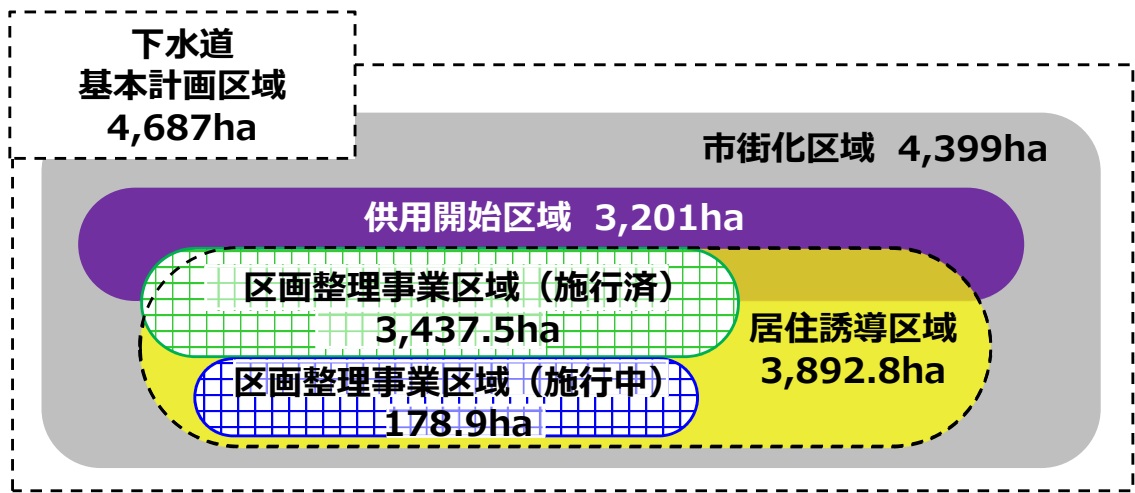
- ◆ 今後の面整備の予定は平成34年度まで次のスケジュールで行う。

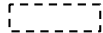
上条地区

	整備面積
平成30年度	23.2 ha
平成31年度	26.9 ha
平成32年度	21 ha
平成33年度	21.1 ha
平成34年度	13.8 ha
合計	106 ha

- ◆ 平成35年度以降の面整備区域は決まっていない。





凡 例	
	供用開始区域（平成34年度迄）
	基本計画区域
	居住誘導区域
	区画整理事業区域（施行済）
	区画整理事業区域（施行中）
	市街化区域

